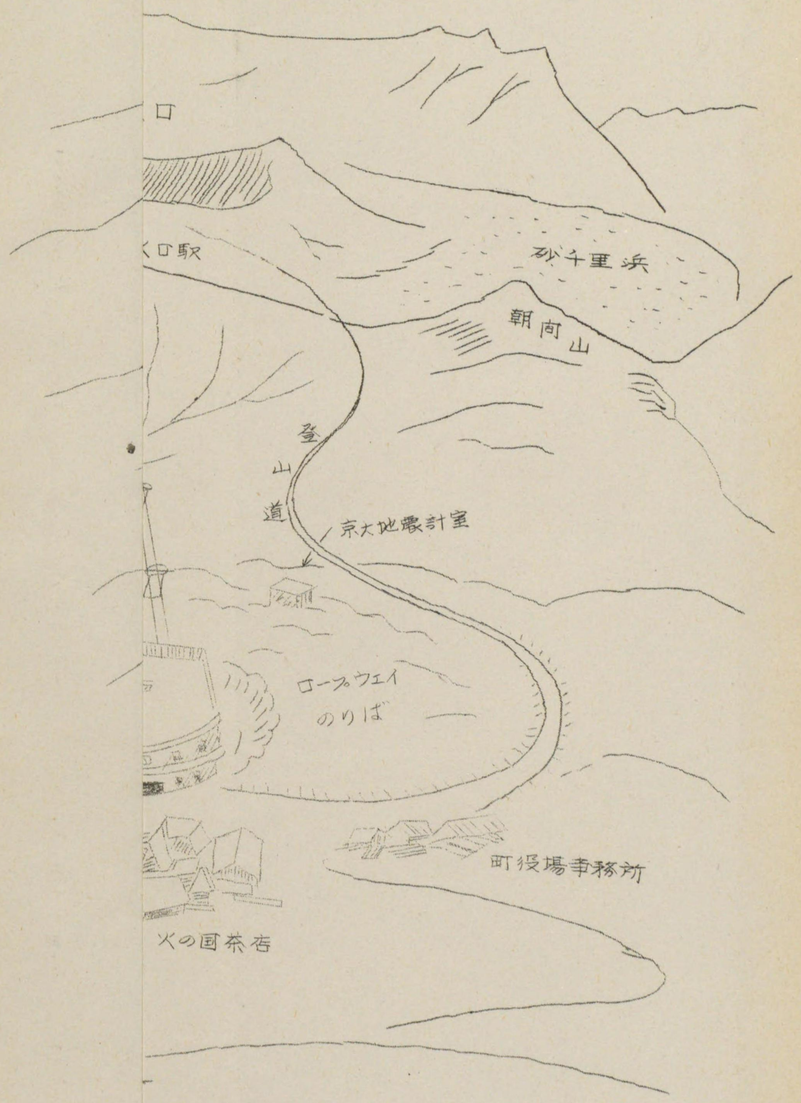
月 日	時 分	噴煙高 (m)	地震記象最大全振巾 (μ)	微気圧計空振記録 (mb)	記事
12 25	10 23	1.300	64	0.7	
	54	1.200	38	0.15	
28	00 32	不明	46	0.16	
	04 07	1.600	86	0.27	
30	00 50	1.500	38	0.16	赤熱噴石あり。
	06 50	3.900	9	0.04	赤熱噴石8合目以上に多量。
	51				火山雷6回あり、降灰南東に多量あり。

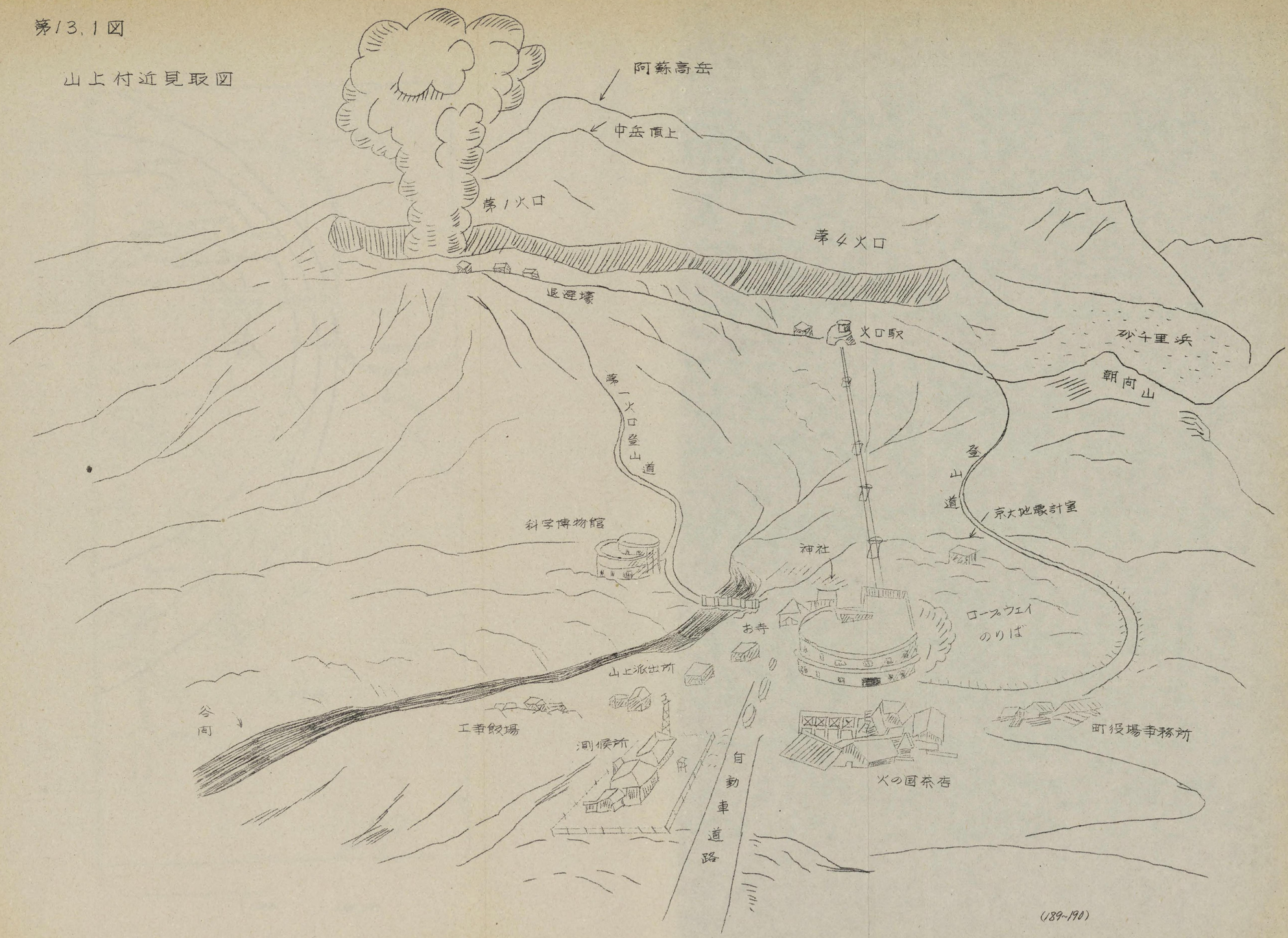
第13.

山

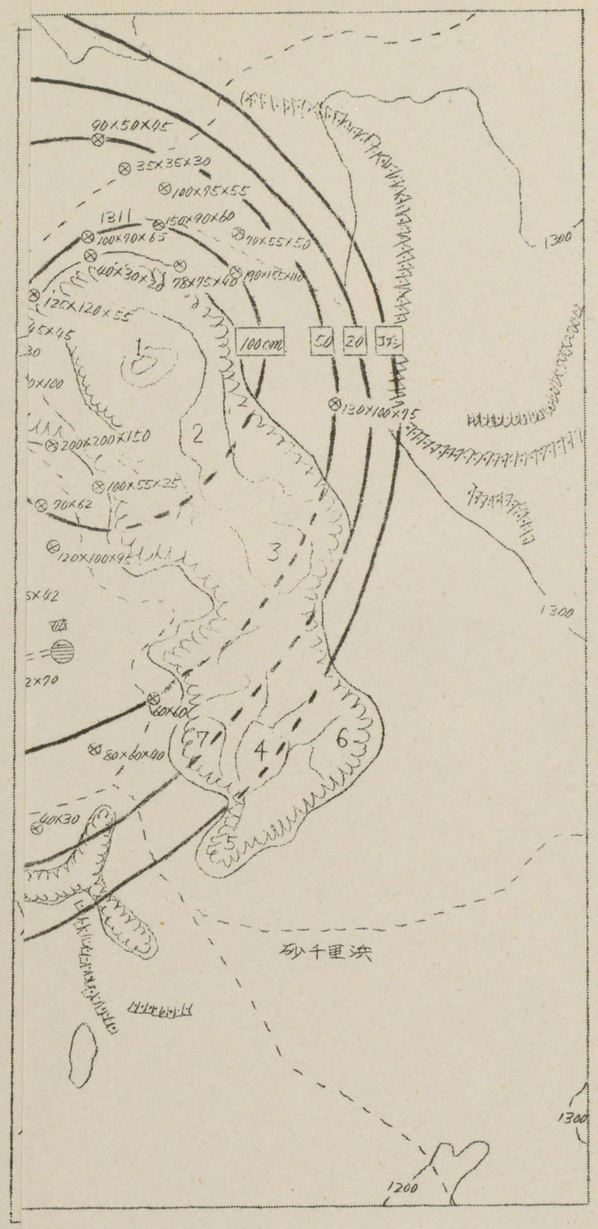


第13.1図

山上付近見取図

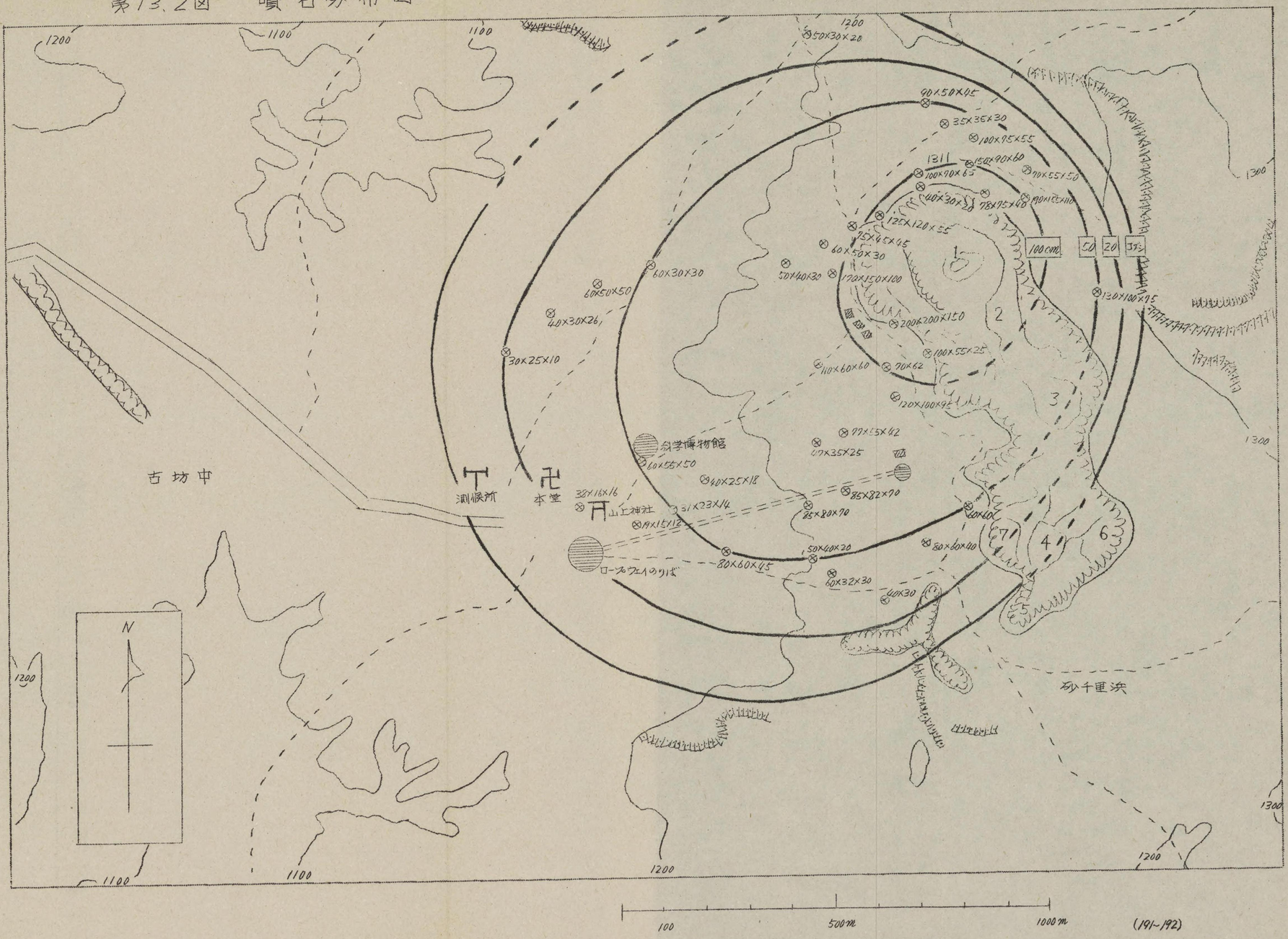


(189~190)


90×50×45
35×35×30
100×75×55
1311
150×90×60
100×70×65
70×55×50
40×30×20
78×75×40
190×155×110
125×120×55
45×45
100cm
50
20
30
130×100×75
200×200×150
100×55×25
70×62
120×100×95
5×42
2×70
60×60
80×60×40
40×30
1
2
3
4
5
6
7
砂千里浜
1300
1200
1000m

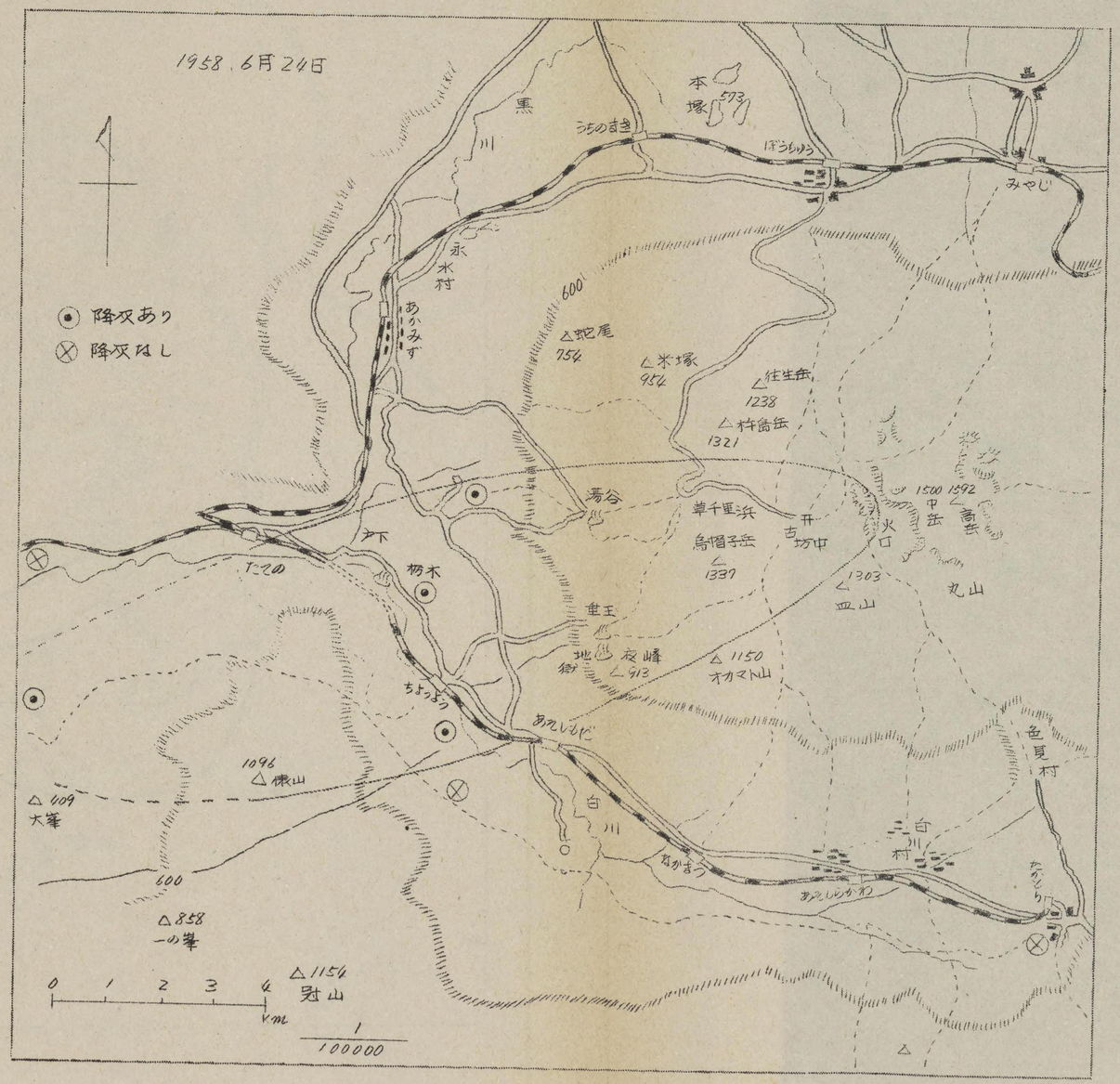
(191~192)

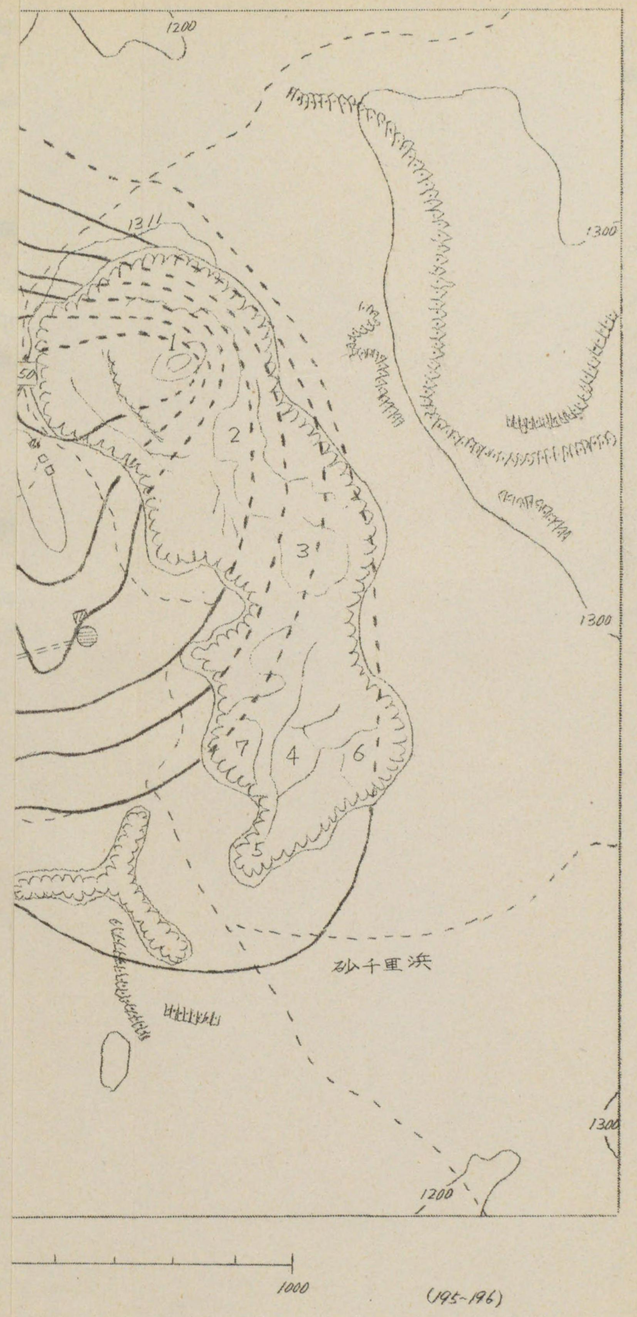
第13.2図　噴石分布図



(191~192)

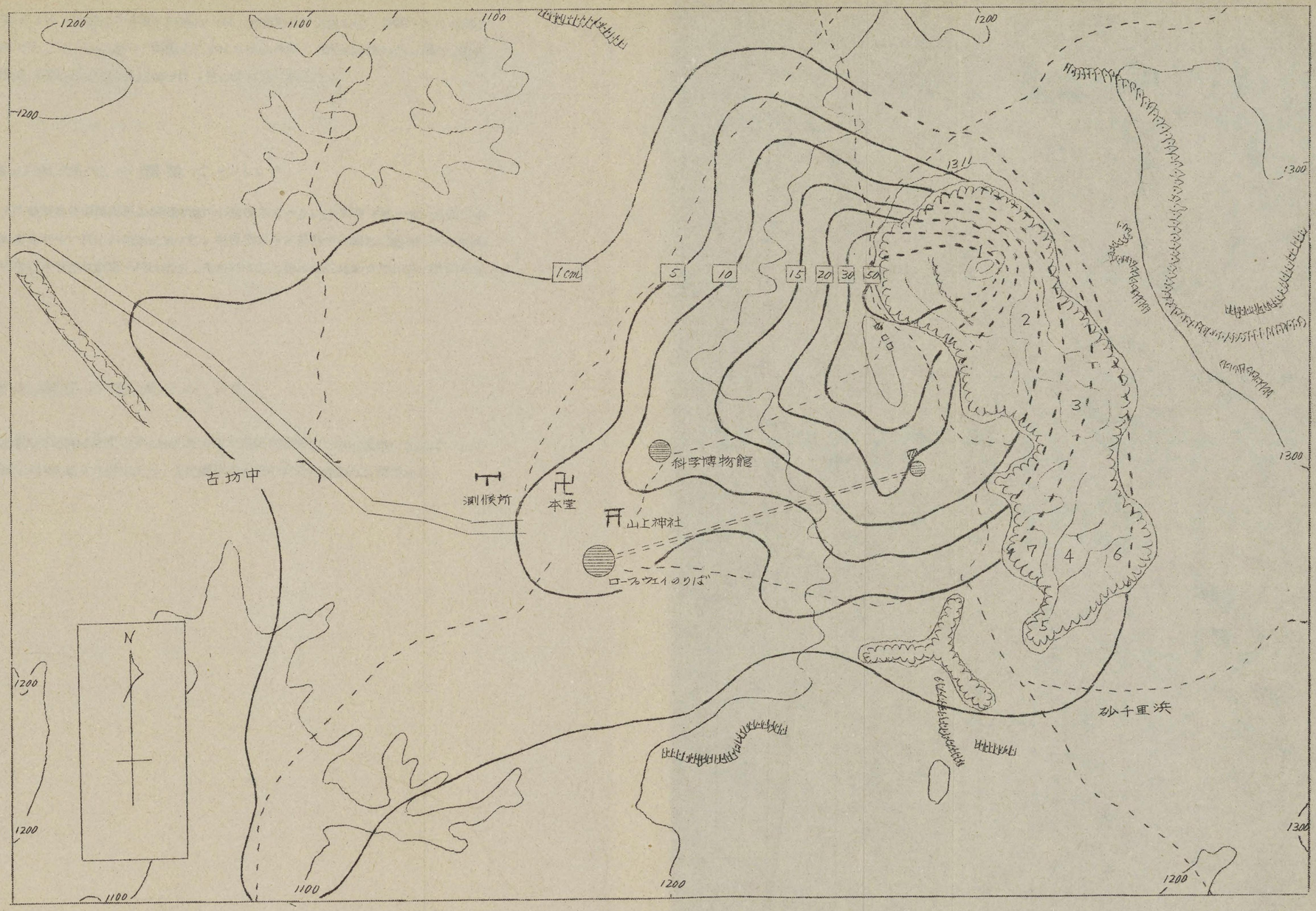
第13.3図　降灰分布図


1958.6月24日
降灰あり
降灰なし
黒川
うちのまき
本塚
573
ぼうちゅう
みやじ
永水村
あかみず
600
蛇尾
754
米塚
954
往生岳
1238
杵島岳
1321
湯谷
草千里浜
烏帽子岳
1337
古坊中
火口
1500
1592
中岳
高岳
1303
皿山
丸山
柄木
たての
重王
地獄
夜峰
913
1150
オカマト山
ちょうよう
あそしもだ
1096
俵山
409
大峯
白川
白川村
色見村
600
858
一の峯
1154
冠山
0 1 2 3 4 km
1/100000



(195-196)

第13.4図　降灰分布図　（降灰等深線）



雲仙公園清七地獄の新噴気口

8月13日22時40分ごろ雲仙公園清七地獄の一部に新噴気孔が出現した。旧噴気孔は当時非常に衰弱しその中心から2mぐらい西に、直径15cmくらいの新しい穴が出現した。最初土砂を噴出したため火山灰ではないかと地元民は疑った。その後は急に衰えた。

霧島山大浪池の噴気について

11月19日18時鹿児島県警察霧島山無線中継所の南東方300mと西方500mの所に亀裂を生じ、新たに噴気孔が生じたとの報告があった。鹿児島地方気象台から直ちに現地に行って調査すると同時に飛行機による空中観測を行ったが、その時はそう認められなかったので一時的な現象であった。

諏訪之瀬島の噴煙について

トカラ
吐噶喇群島諏訪之瀬島は同島の北東25Kmにある中之島区内観測所からの報告によれば、しばしば噴煙を上げ夜間は火柱の見える時もあり、また爆発音も聞かれたが詳細は不明である。

14. 地　震

昭和33年には顕着な地震はなかつたが、3月14日15時19分の熊本県中部にあつた有感地震（熊本II…ヤや障子がわずかに動く程度）は特に宮崎県北西部では風声のような音や、ドンザーという地鳴が聞かれた。

15. 大気放射能と異常微気圧振動

放射能観測表　1958.

定量採取法による降り始め1mmの雨、雪水の放射能

月	日	更正値 6時間	更正値 72時間	月	日	更正値 6時間	更正値 72時間
1	26	1360	1020	10	26	27000	16300
2	27	1360	1020	11	1	10400	6400
3	21	4500	3200	11	9	1900	1750
3	25	1100	1080	11	14	1150	990
3	29	(2100)	(1850)	11	21	2400	1900
4	1	2400	2200	11	23	3600	3100
4	9	1490	1150	11	30	1520	1320
4	11	2950	2400	12	8	1940	1920
4	18	1600	1490	12	19	1180	1130
4	21	1400	1210	12	23	2080	2380
4	27	1670	1600				
4	30	1300	1250				
7	3	4000	3300				
7	10	67000	47000				
7	25	2600	2350				
8	1	3300	2900				
8	2	2150	1950				
8	5	1480	1180				
8	10	1950	1800				
8	12	2000	1670				
8	20	1020	920				
8	22	1310	1260				
8	26	1220	1020				
9	7	1020	1000				
9	11	1120	1060				
10	15	3300	3000				
10	18	1200	960				

定時採取法による雨、雪水の放射能　福岡

月	日	更正値 6時間	更正値 72時間
1	3	2900	1470
1	12	10200	7000
1	23	10300	6100
3	22	1080	850
4	1	1420	1280
4	21	2000	1490
7	10	8700	6200
7	11	8900	7000
7	25	2910	2290
9	7	1800	1550
10	23	1500	660
10	26	13800	7100
10	27	5200	2800
11	1	7200	3600
11	2	1050	550
11	14	1480	1390
12	8	1050	1000
12	23	1460	1390

（　）を附せるは降水量1mm未満。

ケト11B-166

定雨採取法による降り始め1mmの雨、雪水の放射能

月	日	更正値 6時間	更正値 72時間
1	1	1270	1001
3	21	3060	2480
3	28	242000	173000
4	1	2240	2100
4	8	1370	1290
4	11	1655	1540
4	18	1630	1520
4	21	1030	950
5	6	1150	925
6	29	5150	4120
7	7	17400	11300
7	13	25000	21900
7	31	1040	817
8	7	3350	3020
8	13	2170	1760
10	25	25500	14900
10	31	1900	1620
11	9	1610	1480
11	10	3200	2900
11	29	1000	910
12	8	1350	1290
12	18	2120	2020

定時採取法による雨雪水の放射能

鹿児島

月	日	更正値 6時間	更正値 72時間
6	30	2960	2070
7	7	14900	9300
7	8	9100	5340
7	14	11400	9770
7	26	1020	640
10	23	1100	395
10	25	4100	1950
12	8	1070	1020
12	21	1400	1330

異常微気圧振動観測表

（鹿児島地方気象台）

発現時刻 月	日	時	分	振巾 ミリバール	周期 分	継続時間 分	振動の発生地域
7	29	8	56	0.2	1	38	日本の北北西方かなり遠方
8	13	0	53	0.1	4	11	ジョンストン島付近（日本の東南東方）
10	12	22	24	0.1	—	35	日本の北北西方かなり遠方
10	15	22	20	0.1	2	—	〃

34.10.16

451.29-H799h4
1200400268301
集約済